

慈眼

第4号

発行所
小城郡三日町三ヶ島
妙勝寺内
TEL 0952-73-2981
FAX 0952-73-2981

日蓮宗佐賀
教化センター

発行責任者
林 孝 隆
印刷所 中野印刷所

命(又チ)ぞ寶

あなたのごことは忘れない



(終戦50周年沖縄京門法要)

日蓮宗(奥郵正寛宗務総長)では、第二次世界大戦が終結して五十年を期して平成五年十月三十一日に広島で、平成六年五月十日に長崎で、それぞれ宗門法要を厳修してきた。

この法要の締め括りとして四月十二日沖縄県宜野湾市・沖縄コンベンションセンターでお題目総弘終戦五十周年沖縄宗門法要「命ぞ寶——あなたのごことは忘れない」を行い、全国から六千五百人の僧

侶と檀信徒が参集した。

佐賀県宗務所でも当初百二十名の団員募集計画を大幅に変更し、僧侶二十名(法要関係二十五名)檀信徒百七十七名総勢二百七名が参加した。

今回の法要は、沖縄で最も収容人員が多い会場で行われたが、収容能力をはるかに上回る参加者が全国から集まったため、午前は九州教区、午後はその他の全教区に分けて営まれた。

佐賀県は十日午前六時に佐賀駅バスターミナルを出発。午前十一時三十分青く輝くサンゴ礁に囲まれた沖縄那覇空港に着陸、早速南部戦跡慰霊の旅へバスを連ねた。

海軍指令壕では心凍る戦慄に思わず合掌・ひめゆりの塔では散華した少女達の御霊に香華を供養し、涙を拭い摩文仁が丘・はがくれの塔では県内戦死者二万数千名の英霊に全員で法華経を誦誦し、お題目を唱え、参拝団員を代表し護法常任委員 牧瀬徹男氏が献華を行った。

四月十二日南国の美しい青空下九州教

区の参拝団員は、宿舎を後に午前十時に会場に集合した。

永井祥文実行委員長による開会宣言の後、各実行委員を先頭に行脚隊・伝導隊約百名が団扇太鼓を会場にこだませ入場した。続いて日蓮宗佐賀県青年会雅楽部の雅楽吹奏の中、岩間日雄管長親下が宗務院内局の各部長の先導で登壇され「沖縄では八十予日にわたり一日数千発の弾丸が撃ち込まれ、山河の形がかわるほどの激戦を繰り広げました。お釈迦さまは勝つ者は恨みを招き、敗れたる者は苦しみを増す、そのいずれをも離れたるものは心安らかにして幸いなりと教えられています。戦いつつ戦火の治まることを命がけて求めた皆様のご心労を思うと、霊を慰める道はその無念をはらうことではなく、祈り求めた平和をこの地上に築き上げるように努めることです。戦没者へのご冥福を心からお祈りいたしましょう」とお示しになった。

法要は奥郵正寛宗務総長を導師におこなわれ、全ての行事は感動の渦の中で終了した。

法要を通して参加者全員、心を一つに立正平和を祈念し、お題目の輪を世界に広めることを誓い合った。

まやりの心

(かいつぶり)

お釈迦様のお教は全ての人々の救済が中心の考えです。昨今の新々宗教をみると自己の救済に重きがおかれ、他人はどうでも良いという考えが問題といえます。「慈悲」とは互いを慈しむ心、悲しむ心なのです。決して自己満足の心ではありません。

この慈悲の心は常々の家庭の中から生まれてくるのです。仏壇の前で親が手を合わせる姿、その背中を子や孫達は学ぶのです。

私達は一人で生きていくのではない、多くの人々のお陰で生かされているという自覚を持つ事、自らが考える事が一番大切な事なのです。信仰にマニユアルはありません。



小柳友恵

【特集】

《身延山久遠寺・七面山》

私達日蓮宗信者の「魂の故郷」総本山身延山久遠寺と法華経信仰守護の七面天女が祀られている七面山の御紹介です。本年九月には参拝が計画されております。法華経・お題目に帰依する私達は、日蓮大聖人の魂の棲む聖地へ是非お参りしたいものです。

《歴史》

日蓮大聖人が文永十二年(一二七四)甲斐国(山梨県)波木郷におられた檀越の南部実長公の支援を受け、同年五月十七日、身延に入山なされ、同年六月十七日、西谷の地に三間四面の草庵をかまえられました。この日を久遠寺の開創の日とされています。

弘安四年(一二八二)十月、新たに十間四面の大坊が建立され、身延山妙法華院久遠寺と称されました。

日蓮大聖人のご入滅後、日蓮大聖人のご遺言により、身延にお墓が建立されご遺骨が納められました。

その後、六老僧を中心に輪番制によって運営されていきました。しかし、輪番制はくずれ、日向上人が二世となってからは、住職が定められるようになりました。

その後、十一世行学院日朝上人は、西谷の地から現在の地へ移転拡張されました。江戸時代になってからは、心性院日遠上人をはじめ歴代の住職(法主)の尽力により諸堂の建立整備がなされてきました。しかし、明治八年(一八

七五)の大火により多くの堂宇を焼失してしまいました。

昭和五十七年(一九八二)日蓮大聖人七百遠忌の事業として、間口十七間半、奥行二十八間の大本堂が完成し、昭和六十年五月落慶法要が営まれ、総本山の根本殿堂にふさわしい大本堂が再建され現在に至っています。

次に身延山の山内の一部を御紹介致します。

《坊》

日蓮大聖人の入山の頃から、弟子らがそれぞれに庵室をかまえ、有縁の者を養い、朝夕に日蓮大聖人に給仕して行道修学にいそしんだ場所を後に坊と呼ばれ、信者らの宿坊となりました。現在では、三十二の坊があります。

《総門》

日蓮大聖人が身延入山の第一歩をしるされた地に立つ門で二十八世日 上人が寛文五年(一六六五)に建立したものです。「開会関」の額は、三十六世日潮上人の書で、開会とは一切の人々は法華経の

信仰によって仏となるとの意であるから、この門を入ることによって道が開けることを示しています。

《菩提梯》

佐渡の信者で仁蔵の発願により起工し、完成されたものです。高さ五八間、階段数二八七段、お題目になぞられ七区切りに分かれる急な階段で登りは苦しいが、それを通して仏の悟りに近づく意から菩提梯と呼ばれています。

《御廟所》

日蓮大聖人のご真骨が納められた墓所です。また、身延山の歴代の墓所で富木常忍の母、阿仏房日得上人、南部実長公の墓があります。

《御草庵跡》

日蓮大聖人が構えた草庵の跡で、当初は三間四面でありましたが、のち十間四面に改築されました。身延山久遠寺発祥の地であります。



(身延山棲神閣祖師堂)

創業100年

辻の堂の仏だんや

(株)本庄仏具総本店

佐賀市堀川町(辻の堂)
☎0952-23-2955(代)

美と健康とサービスを皆様へお届け致します。

EBM Elegant Beauty Management スキンケアスタジオ



Elegant Beauty Management

株式会社イービーエム

代表取締役 松島 榮子
〒810 福岡市博多区博多駅東1-12-5
TEL (092) 482-6601

《七面山》

久遠寺の約二十キロ西方にあり、標高一九八二メートルのお山です。頂上部に大崩崖があり、日蓮大聖人は「なないた(七面)がれのたけ」とよばれています。一帯は早川町に属しますが、山上は身延町の飛び地で、久遠寺の所有です。身延山の守護神である七面天女がまつられています。

日蓮大聖人滅後、永仁五年(一一九七)九月十九日、弟子である日朗上人と、信者である南部実長によって開創され、この日をもって大祭を行っております。徳川家康の側室で水戸光圀の祖母であるお万の方が女人禁制を解きました。

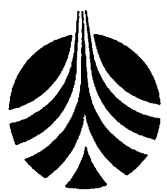
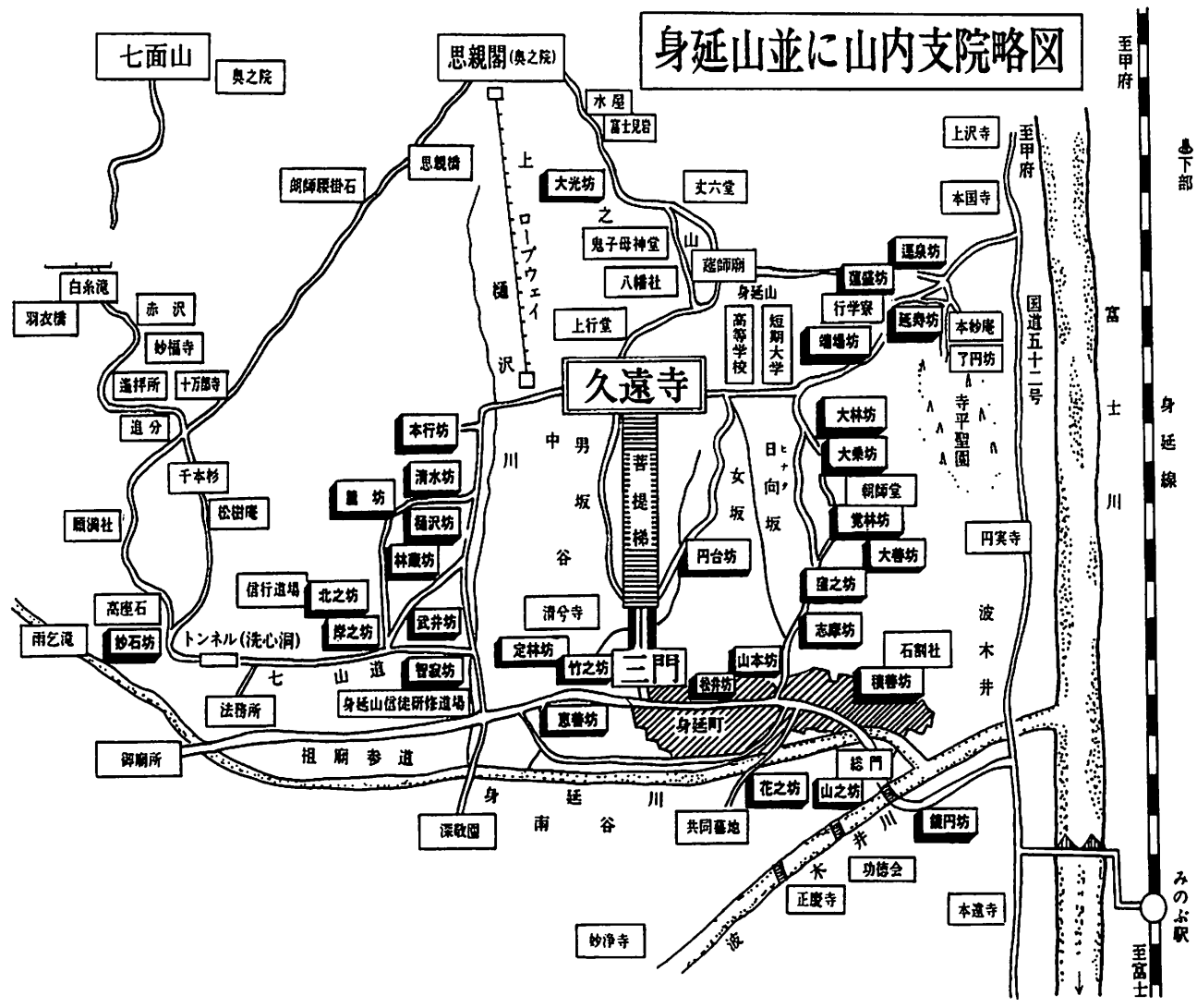
《七面天女》

建治三年十一月、日蓮大聖人五十六歳の時、草庵近くの大きな石(高座石)で説法されていきました。

聴衆の中に、見なれぬ美しい少女が聴聞しています。そこで大聖人は、「そなたの姿を見てみな不思議に思っています。本体を見せてやりなさい。」と言われますと、「私は身延山の鬼門をおさえ、法華経を修行する人に心のやすらぎと満足を与える七面天女です。どうか水をすこし。」と乞いました。

かたわらにあった花瓶の水をそそがれると、たちまち龍の姿となり七面山の方に飛び去っていきました。

身延山並に山内支院略図



手を合わせることを大切に・・・

山本仏具

佐賀市呉服元町10-12 23-4308
〒840 ☎ (0952)

創業明治22年

旅館

あけぼの

佐賀市中ノ小路3-10 ☎ (0952) 24-8181

寺院紹介 (四)

《中道山 観照院》

観照院は佐賀市の中心部に位置し、県内でも有数の歴史あるお寺です。

【歴史】

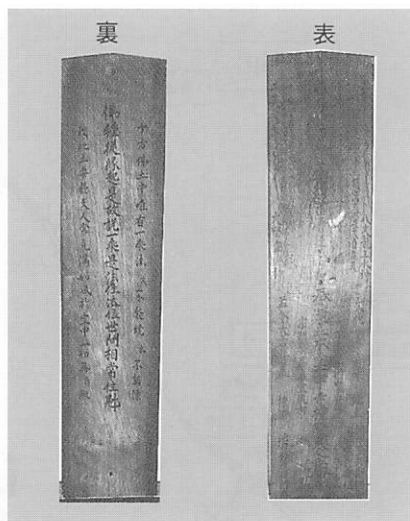
今から約五八〇年ほど前の応永年間に荒行で有名な千葉県の中山法華経寺の命により建立され、開基は日伝といわれています。これは県内では本山松尾山光勝寺につぐ歴史があります。

創建当時は七ヶ寺もの末寺を持ち、鍋島藩の祈禱所ともなっております。



(観照院の等身大のお祖師様)

観照院本堂の棟札
(池田もく兵衛の名が記載されている)



【本堂】

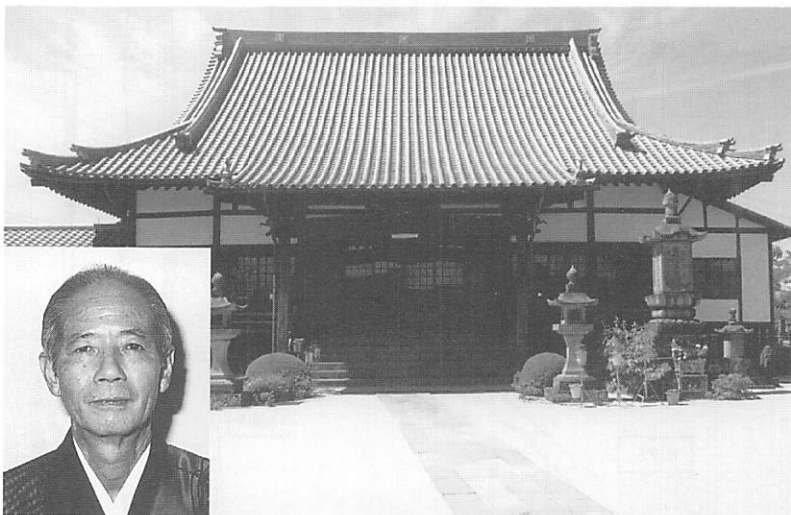
創建から現在に至るまでに伽藍は数回建て替えられています。現在のものは、文永七年(一八一〇)に鍋島藩ご用達の富裕な商人であった池田もく兵衛が、自力で建てたものです。この年号は、本堂改築時に屋根裏から発見された文書に基づくものであり、この時には鍋島藩祖の日峰公をはじめ、十二代に渡る鍋島藩主のお位牌も発見されています。

【位置】

佐賀市内の高木町にあって、佐賀城北東、旧長崎街道沿いに位置しております。ここで得意なのは、観照院を以て東西に七ヶ寺もの寺院が連続して建っているという事実です。この中には他宗になります、願正寺などの名刹もあります。

このように沢山の寺院が集中している理由としては、現在地がかつては長崎街道沿いとして大変繁栄した場所だったという事もあるでしょう。

現在の本堂は昨年屋根の改修が終了し、柱や梁など、目に見えない所の修理もなされ、建立時の威容を取り戻した様相を示しております。今後とも永きに渡り、お題目弘通の道場として発展していく事でしょう。



創業明治10年



仏壇・仏具
製造販売

(株)村山佛光堂

本店/佐賀市水ヶ江2-7-39
展示場/本店ヨリ北へ2軒目
工場・倉庫/佐賀市水ヶ江1-4-23

☎0952-23-7595

拝む心で尊い品を ◆お仏壇、お仏具のご用命は



梅谷佛具店

仏壇・仏具・寺院用品・寺院納骨堂設計施工
〒812 福岡市博多区奈良屋町3-21 TEL092-271-0456 (代表)